

不二

小学初級版 幼・1・2・3年生用



7/2022



1/11/2017

かんじのひょうげん

こんがいのテーマは「宀」というかんじです。

みなさん、学校に行くとき、おうちに帰るとき、交通ルートをきちんとして守っていますか。「横断歩道をわたる」「道路に急に飛び出さない」ルールを守って安全に登下校してくださいね。

(およそ二千二百年まえの字)



殷の甲骨文 (注)
殷の甲骨文

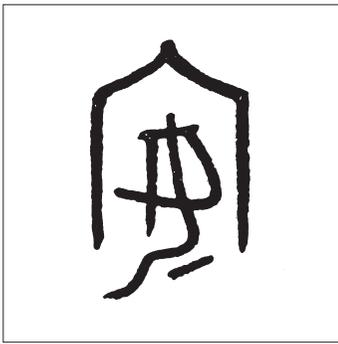
この字は大むかしの中国で使われていた「安」という漢字です。

どのような字で生まれた漢字なのでしょうか。

「宀」と「女」が組み合わされていることがヒントです・・・。

「安」は家の中で女の人がすわっている様子から生まれました。女の人がしずかに休んでいることから、「やすらか」の意味をあらわします。

(およそ二千七百年まえの字)



周の金文 (注)
周の金文

(およそ千八百五十年まえの字)



曹全碑 (漢の隸書)
曹全碑 (漢の隸書)

家にいると心が落ち着きます。みなさんも家に帰っているとホッと安心しませんか？

左の漢字は「女」の甲骨文です。体の前で手を重ねてする女の人の姿をあらわしています。



「女」(甲骨文)

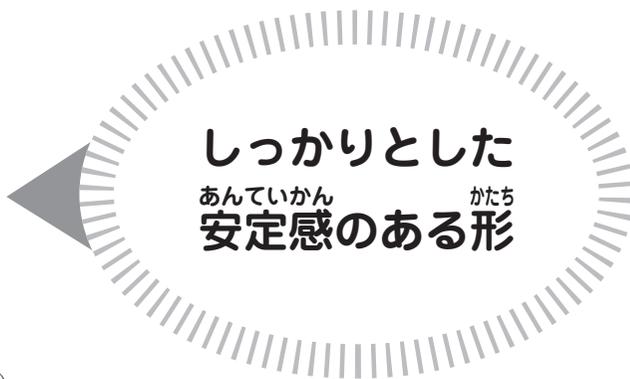
(注) 甲骨文：古い言葉が亀の甲羅や獣の骨に刻まれて残された中国最古の文字。
金文：儀式に使われた青銅器などの金属に鑄込まれて伝えられた文字。

いろいろな「安」のひょうげんを^みてみましょう。

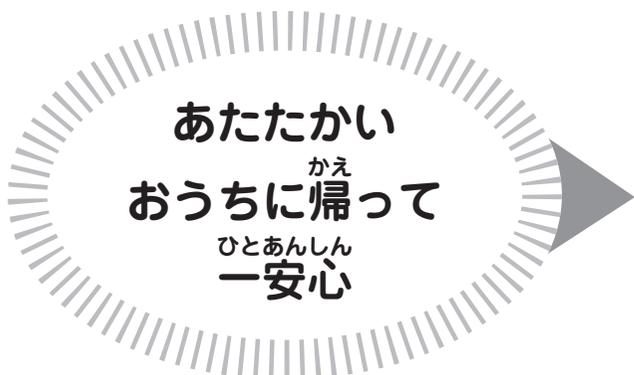
(およそ千二百五十年まえの字)



がんしんけい たほうとうひ とう かいしょ
顔真卿「多宝塔碑」(唐の楷書)



しっかりとした
あんていかん ^{かたち}
安定感のある形



あたたかい
かえ
おうちに帰って
ひとあんしん
一安心



いしばしさいすい ぎょうしよせん じもん しょうわ ぎょうしよ
石橋犀水「行書千字文」(昭和の行書)

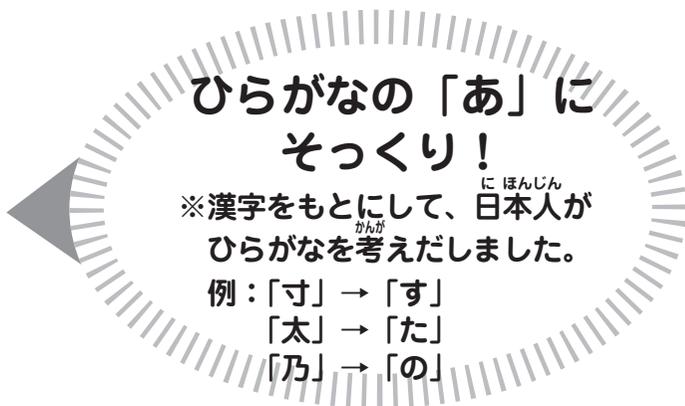
※行書は点や画をつづけて筆を運びます。
美しく速く書きやすい書体(漢字の書き方)です。

☆今月は「安」のいろいろなひょうげんを楽しみました。

(およそ千六百五十年まえの字)



おうぎし じゅうしちじょう とうしん そうしよ
王羲之「十七帖」(東晋の草書)



ひらがなの「あ」に
そっくり!

※漢字をもとにして、日本人が
ひらがなを考えだしました。

例:「寸」→「す」
「太」→「た」
「乃」→「の」

※草書は点画をかんとんに略して書きます。
昔の人は手紙をサラサラ草書で書いています。

中国の古代王朝名: 夏・殷・周・秦・漢

夏・殷・周の三つの王朝をまとめて三代ともいう。

見えてきたもの

本会理事 堀津 節子

第二次世界大戦が始まった頃の小学校（当時は国民学校）のお習字のはじめは毛筆でした。教室では半紙を使いましたが、家で習う時は新聞紙に書きました。何度も重ねて書いて新聞紙が真っ黒になったこともあります。その後エンピツの習字（硬筆）を習いましたが、友だちが字を大きく書いてみると立派に見えて私の字も大きくなり、小さな字を見ると大人が書いていようでいいなと小さめになりました。私の字はどうしてきまらないのだろう、と心配になりました。

先生に見ていただいたところを直したり、手本とくらべたりして書いている中に気づくことがありました。何回もくり返して書いているとはじめ気づかなかったところが見えてきたのです。ふしぎに見えてくるのです。形も少しずつ整ってよくなっていきました。その発見がうれしくて書くことが楽しくなったことを覚えています。皆さんも試してみませんか。

目次

◇ かんじのひょうげん……………	表2
◇ 巻頭言／目次……………	2
◇ 今月の課題 半紙幼年・一年生 ……	3
半紙二年生 ……	4
半紙三年生 ……	5
硬筆幼・一年生 ……	6
硬筆二・三年生 ……	7
条幅幼・一二年生 ……	8
条幅三年生 ……	9
◇ 手本のなにか ……	10
◇ 最優秀作品 ……	18
◇ 優秀作品 ……	20
◇ みんなのこえ ……	27
◇ 五月月例競書成績表 ……	28
◇ 千字文大会出品要項 ……	40
◇ 編入試験受験案内 ……	44
◇ 競書出品のしかた ……	46
◇ 硬筆用紙幼／二年生 ……	47
◇ 硬筆用紙三年生／ヨーコちゃん ……	48
◇ 出品券／課題予告／あとがき ……	49
◇ 不二誌案内 ……	表3
表紙 龍門石窟の孫悟空の拓本より デザイン 石橋 應和	

しめきり厳守 【今月の出品期間 7月4日(月)～7月13日(水)】

● 8月号(7月4日～7月6日発送)発表の段級を7月出品の作品に書いて出品してください。

段級検索 I Dのご案内は 28 ページをご覧ください。

◎教室長の方には、実力向上のためにも一般版の購読をお勧めいたします。

はち
九

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字
(初・二・三・七)で記入

☆級は黒の算用数字
(1・2・3・10)で記入

☆出品券をはる

きょうしつ
だん
なまえ
きゅう



(手本のならいかたは10ページ)

☆はじめて出品するときは、このなかの一字だけを
かいても出せません。一字だけを出品する場合は、「幼
年・一年」と学年を出品券横に明記してください。

☆なまえは、かけるひとは漢字でかきましょう。
☆なまえもさくひんのいちぶです。
ていねいにかきましょう。

ア
サ
ガ
オ

きょうしつ だん なまえ きゅう
アガオ オサ

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字
(初・二・七)で記入

☆級は黒の算用数字
(1・2・10)で記入

☆出品券をはる

(手本のならいかたは10ページ)

☆はじめて出品するときは、このなかの一字だけを
かいても出せます。一字だけを出品する場合は、
「二年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆なまえは、かけるひとは漢字でかきましょう。
☆なまえもさくひんのいちぶです。
ていねいにかきましょう。

夏
山

教室
段
名
前
級

夏
山

（手本のならいかたは11ページ）

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二・七）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2・10）で記入

☆出品券をはる

☆はじめて出品するときは、この中の一字だけを書いていても出せません。一字だけを出品する場合は、「三年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆名前はなるべく漢字で書きましょう。
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

〔硬筆幼年〕

ひ	プ
ら	ー
お	ル
よ	
ぎ	

（手本のならいかたは12ページ）

プール ひらおよぎ

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

依田蘭香先生書

〔硬筆一年生〕

ね	た
が	ん
い	ざ
ご	く
と	

（手本のならいかたは13ページ）

たんざく ねがいごと

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

依田蘭香先生書

☆名前、かける人は漢字でかきましょう。課題と同じようにていねいにかきましょう。
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

〔硬筆二年生〕

天	白
の	く
川	か
	が
	やく
	く

（手本のならいかたは14ページ）

白くかがやく 天の川

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

荒谷由美子先生書

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

〔硬筆三年生〕

空	お	星	さ	ま	キラ	キラ
か						
ら						
見						
て						
る						

（手本のならいかたは15ページ）

お星さまキラキラ空から見てる

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

荒谷由美子先生書

☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

じょうふく
〔条幅2年生〕 小久保嶺石先生書

じょうふくよう
〔条幅幼・1年生〕 小久保嶺石先生書

教室名

段(赤の漢数字)

名前

級(黒の算用数字)



しゅっぴんけん
出品券をはる

きぼう

教室名

段(赤の漢数字)

名前

級(黒の算用数字)



しゅっぴんけん
出品券をはる

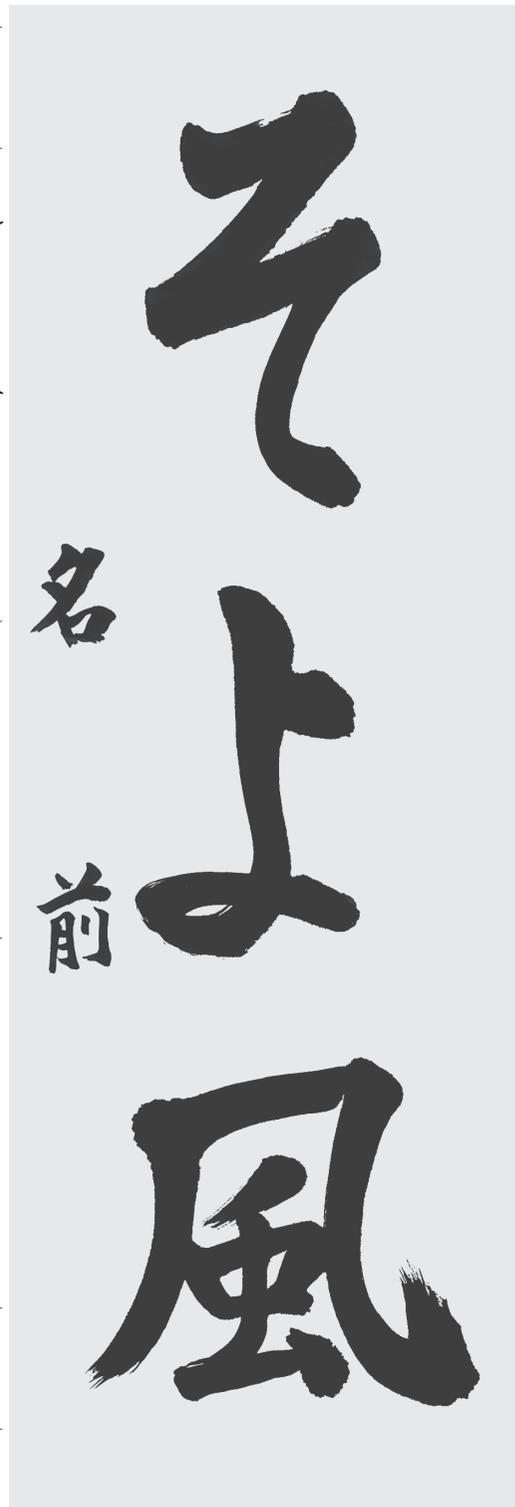
ホタル

★条幅の大きさはたて68cm×よこ23cm(全紙6分の1)です。

【お願い】 条幅作品でも、半紙作品と同様に、「教室名、段(赤の漢数字)、名前、級(黒の算用数字)」を書いてください。

そよ風かせ

★段は赤の漢数字（初・二…七）、級は黒の算用数字（1・2…10）で記入。



しゅつぴんけん
出品券をはる

（手本のならいかたは16ページ）

教室名

段（赤の漢数字）

名前

級（黒の算用数字）

がくしゅう
学習のポイント

筆使い

条幅作品では、筆使いを工夫して書きましょう。筆の鋒の弾力（バネ）を使って、のびのびと。

反省と鑑賞

書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや線の太さがよいか見みましょう。全体感、三字の収め方を確かめましょう。

章法（構成）

名前はしあげです。全体を見て入れましょう。

双鉤法
◆ふでのもちかた



人さしゆび、中ゆびの2本をふでのじくにかけてもつもちかた。

紙面から手首を離して、筆管は第二関節に副えます。手首を柔らかくして、指には力を入れずに軽く持ちます。腋を開いた分だけ腕を上げ、手首と指を少し内側にまわした形で筆を持ちます。

これは運筆のときの筆と手指、腕の状態を示しているではありません。ご注意ください！

ここにちゅうい 幼・1年

ねらい

★画数が少ない文字を堂々と書く。

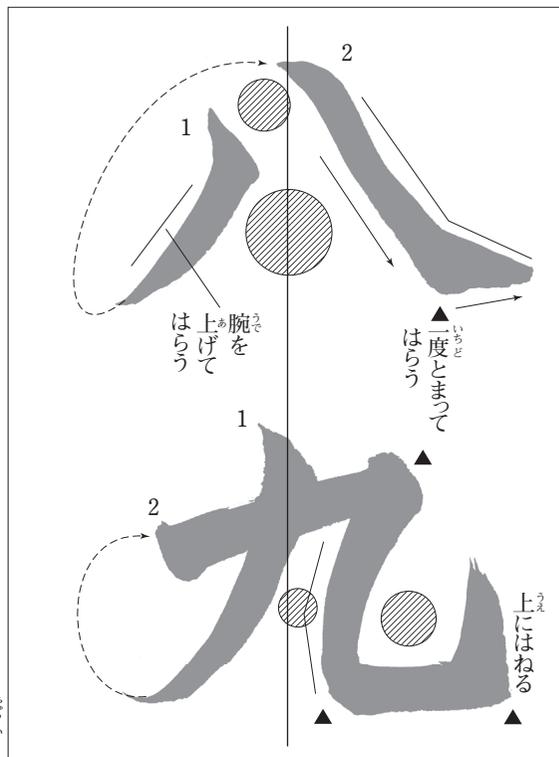
学習のポイント

八：一かくめは途中から腕を上げてはらう。

一かくめから二かくめにつなげる。二かくめは軽く入って、体でなめらかに筆をおろして、とまってから腕を上げて横にはらう。

九：一かくめから二かくめにつなげる。

二かくめは体で横にひき、筆を立てて下ろして筆の方向を変えて円みをもって下にひく。とまったら横にひき、とまって上にはねる。



▲とめてほうこうをかえる

◎あきに注意

ここにちゅうい 2年

ねらい

★半紙にカタカナ四字をおさめる。

★姿勢の確認。(上の字を書く時は半紙を手前にひく)

学習のポイント
ア：三角形をイメージして書くときよい。一・二画めの左

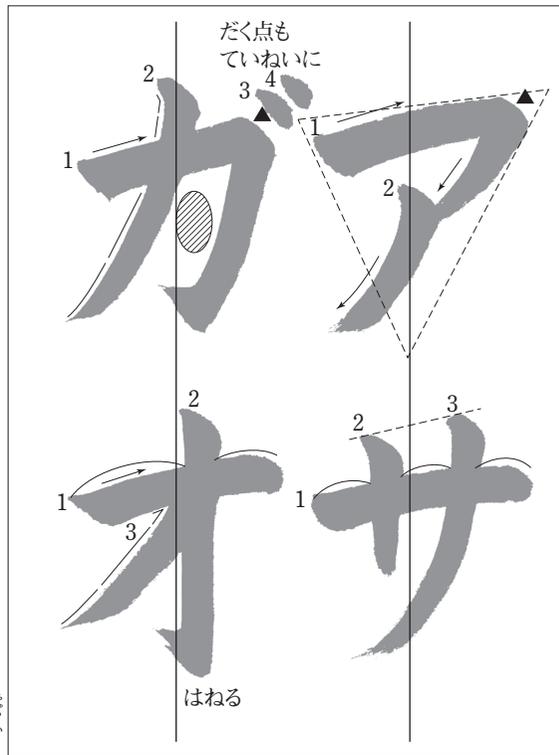
はらいの向きのちがいに気をつける。

サ：二・三画めを書き始める位置をお手本でよくたしかめる。

ガ：一画めの折れは力強く。二画めの左はらいをスツ

キリのびやかに表現する。

オ：二画めは少し右によせ、体を使ってはりのある線をひき、最後ははねる。



▲とめてほうこうをかえる

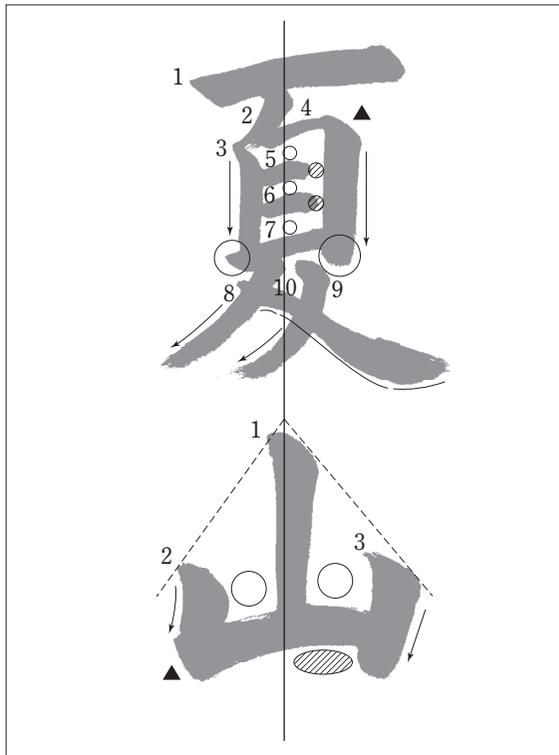
◎あきに注意

ここに
ちゅうい 3年

▲とめてほうこうをかえる

◎あきに注意

○広さに注目



ねらい

★半紙二字書き課題。

★余白や字間に注意してまとめる。

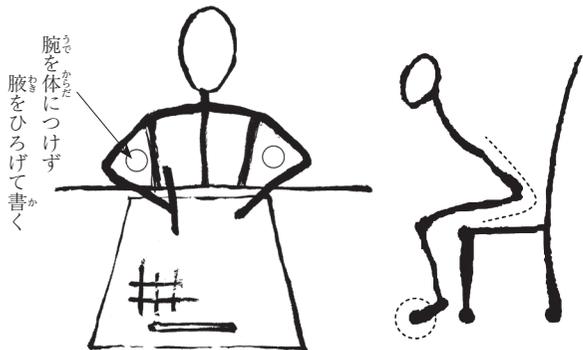
学習のポイント

夏：「冫」を「夕」でしっかりと支える。八・九画めの左

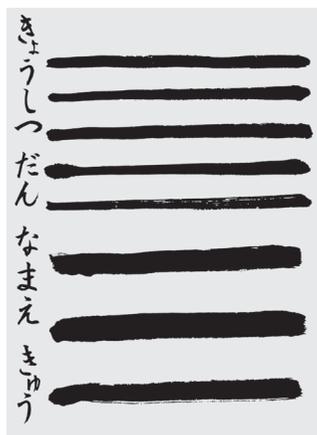
はらいの方向のちがいに気をつける。「夏」と書いてもよい。

山：一・二・三画め、それぞれの書き始めの位置をたしかめる。一画めで中心を通し、点画の方向に注意しながら、のびやかに連筆する。

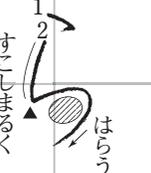
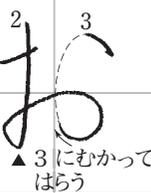
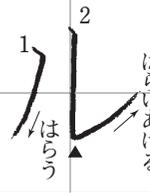
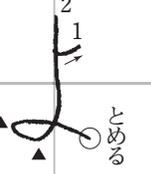
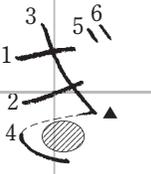
【正しい姿勢】



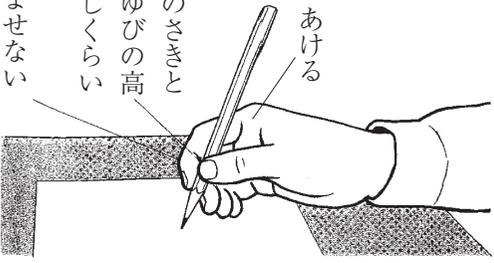
- ・両腕をはって体で書く
(下腹に力を入れて体を前後左右に動かせるように)
- ・机との間にゲンコツ1つ、背もたれとの間にゲンコツ2つから3つ
- ・両足は少し開いてつま先を床につける。
- ・おしりを突き出すように座る。



課題を書く前の準備運動に「横棒」を書いてみましょう。
書道を始めたばかりの方は「横棒」を書いての出品も可とします。
出品券横に必ず学年を明記して下さい。

あける			あける			
	ひ	まるがおおきい × [○] フ まるがとおい × [○] フ		ぷ		
	ら		ー	ー		
	お			る		
	よ					
	ぎ					

えんぴつのもちかた



えんぴつのもちかた

▲とめてほうこうをかえる

◎あきにご注意

※中心の線は下じきに入れて書きましよう。

依田蘭香先生書

<p>たてせんより 1. みぎにでる</p>	ね	<p>1. ななめしたに 2. 3. 4.</p>	た
<p>1. 2. 3. 4. 5.</p>	か	<p>1. 2. 3. 4. 5.</p>	ん
<p>1. 2.</p>	い	<p>1. 2. 3. 4. 5.</p>	ざ
<p>1. 2. 3. 4.</p>	こ	<p>1. 2. 3. 4.</p>	く
<p>1. 2.</p>	と		

まっすくのせんにしな

▲とめてほうこうをかえる
 ◎あき
 ※中心の線は下じきに入れて書きましよう。

依田蘭香先生書

あける 		あける 	
1 3 2 4 天 はらう はらう	—	1 3 2 4 5 白 ひる	ノ
 ゆつくりとまわる	の	く	く
1 2 3 川 ぬく	川	か とめる	か
		ガ	ガ
		や 二画めに むかう とめる	や
		く	く

▲ とめてほうこうをかえる

○ 同じひろさ

◎ あきに注意

※ 中心の線は下じきに入れて書きましよう。
※ 一字の書きはじめの部分を示しています。

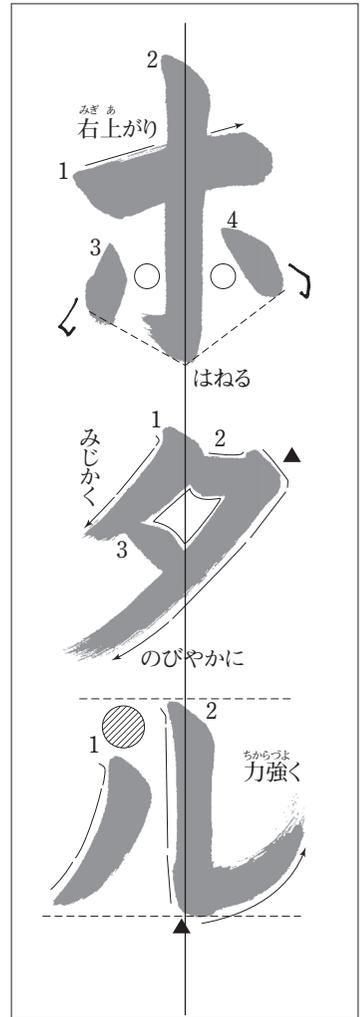
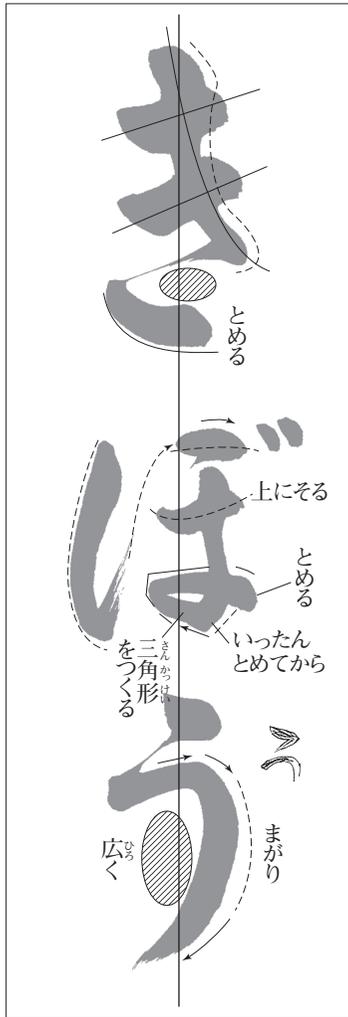
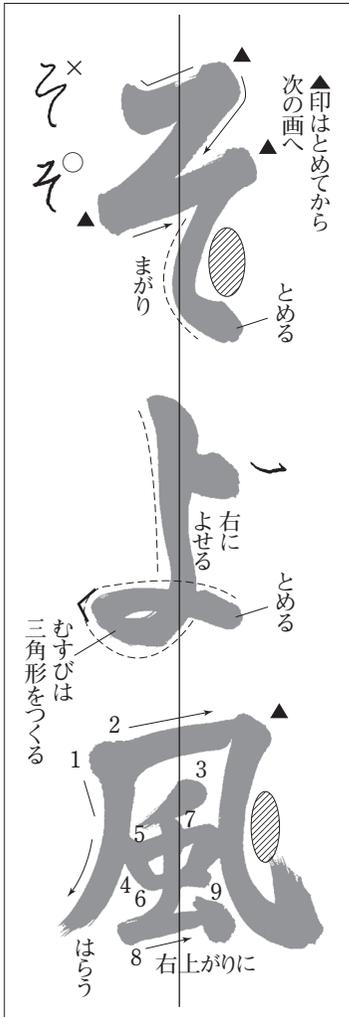
あらや
荒谷由美子先生書

てほん 手本のならいかた / じょう ふう 条幅

小久保 嶺石 先生 書

小久保 嶺石 先生 書

小久保 嶺石 先生 書



【お願い】条幅作品でも、「教室、段（赤の漢数字）、氏名、級（黒の算用数字）」を書いてください。

▲止めて方向を変える
○広さに注目
●あきさに注意

ここに 3 年生

ここに 2 年生

ここに 幼 1 年生

ねらい
★中心に気をつける。
★はね、おれ、はらいの練習。
ホ…一かくめは少し右上がりに。二かくめは、体を使って筆をひき、とめてからはねる。三…四かくめの点は①②③のリズムで書く。
タ…左はらいの方向や長さや気をつけ、のびやかに筆をはこぶ。
ル…一かくめ、二かくめの書きはじめの位置をよく見て書く。二かくめは、まつすく下にひきおろしてから、右上がりに力強くはね上げる。

ねらい
★変化する横画の書き方を学ぶ。
★まがり、むすびの練習。
ま…一・二画めの横画のそり、角度をよく見て書く。三画めのそり、四画めの力強いまがりに気をつける。
ぼ…一・四画めの縦画のそりをよく観察する。四画めのむすびは三角形を作るように。
う…二画めはゆつたりとした縦画のまがりを作る。

ねらい
★点画のそり、むすびを習う。
そ…横画のそり、まがりでは力強く筆を使う。
よ…一画めは短く力強く。二画めは少し右へよせてから、むすびを書く。むすびは三角形を作るようにする。
風…「八」（かぜがまえ）の縦画はそれぞれ大きくまげる。「八」「虫」の大きさに注意して、かまえの中におさめる。

ねらい
★中心に気をつける。
★はね、おれ、はらいの練習。
ホ…一かくめは少し右上がりに。二かくめは、体を使って筆をひき、とめてからはねる。三…四かくめの点は①②③のリズムで書く。
タ…左はらいの方向や長さや気をつけ、のびやかに筆をはこぶ。
ル…一かくめ、二かくめの書きはじめの位置をよく見て書く。二かくめは、まつすく下にひきおろしてから、右上がりに力強くはね上げる。

ねらい
★変化する横画の書き方を学ぶ。
★まがり、むすびの練習。
ま…一・二画めの横画のそり、角度をよく見て書く。三画めのそり、四画めの力強いまがりに気をつける。
ぼ…一・四画めの縦画のそりをよく観察する。四画めのむすびは三角形を作るように。
う…二画めはゆつたりとした縦画のまがりを作る。

ねらい
★点画のそり、むすびを習う。
そ…横画のそり、まがりでは力強く筆を使う。
よ…一画めは短く力強く。二画めは少し右へよせてから、むすびを書く。むすびは三角形を作るようにする。
風…「八」（かぜがまえ）の縦画はそれぞれ大きくまげる。「八」「虫」の大きさに注意して、かまえの中におさめる。

ねらい
★中心に気をつける。
★はね、おれ、はらいの練習。
ホ…一かくめは少し右上がりに。二かくめは、体を使って筆をひき、とめてからはねる。三…四かくめの点は①②③のリズムで書く。
タ…左はらいの方向や長さや気をつけ、のびやかに筆をはこぶ。
ル…一かくめ、二かくめの書きはじめの位置をよく見て書く。二かくめは、まつすく下にひきおろしてから、右上がりに力強くはね上げる。

ねらい
★変化する横画の書き方を学ぶ。
★まがり、むすびの練習。
ま…一・二画めの横画のそり、角度をよく見て書く。三画めのそり、四画めの力強いまがりに気をつける。
ぼ…一・四画めの縦画のそりをよく観察する。四画めのむすびは三角形を作るように。
う…二画めはゆつたりとした縦画のまがりを作る。

ねらい
★点画のそり、むすびを習う。
そ…横画のそり、まがりでは力強く筆を使う。
よ…一画めは短く力強く。二画めは少し右へよせてから、むすびを書く。むすびは三角形を作るようにする。
風…「八」（かぜがまえ）の縦画はそれぞれ大きくまげる。「八」「虫」の大きさに注意して、かまえの中におさめる。

月刊書道誌

不二

いつでも、どこでも、だれでも！
年齢、習熟度に応じて学べます。

「不二」は、伝統に立脚し、流派を超えた書道教育の振興をめざす日本書道教育学会が1950年から毎月発行し続け、創刊72年を迎えた書道学習誌です。また「不二」は全国約2000の書道塾及び20ヶ国を超える海外不二教室でも用いられています。

不二誌の
仲間

子供から成人まで各段階ごとに編集されており、体系的な学習が可能です。
ご家族そろって不二誌での学習をはじめませんか。

一般版



純正書道修練の競書誌。手本ごとに丁寧な筆法解説が添えられ、学習にも指導にも最適。出典・作者・内容に触れ、書法と同時に書史を学べます。書論・書道史の読み物も充実。

中高版



教育書道の競書誌。楽しく読みながら、書の実技・鑑賞・理論が学べます。手本は丁寧な筆法解説に加え、出典・作者・内容も紹介。

小学上級版



教育書道の競書誌。筆順から筆づかい、文字の組合せ方まで丁寧に解説。故事成語などの読み物もあり、自然に書に親しめます。

小学初級版



教育書道の競書誌。筆順から筆づかい、文字の組合せ方まで丁寧に解説。文字のなりたちや日本の言葉を知る楽しいページも掲載。

ぺんの力



硬筆専門誌。毛筆をもととした硬筆を学び、実用に活かす。写経・つけペン・筆ペン・ボールペン等多様な課題が学べます。

会誌名	対象	単価
不二一般版	大学生・一般	800円
不二中高版	中学生・高校生	600円
不二小学上級版	小学4、5、6年生	550円
不二小学初級版	幼年・小学1、2、3年生	550円
ぺんの力	大学生・一般	700円

(送料・消費税込み)

「不二」誌七月号の目次から

―本誌各版の記事をご紹介します―

【一般版】

・巻頭言……………山野 岳義

【中高版】

・巻頭言……………小島 鳳治

・日常の文字を書こう！

【上級版】

・巻頭言……………小久保嶺石

・故事成語「塞翁が馬」

【初級版】

・巻頭言……………堀津 節子

・かんじのひょうげん「安」

【ぺんの力】

・巻頭言……………長瀬 弘

・美しいペン字を学ぶ・鷹見芝香書

「行書の基本④」

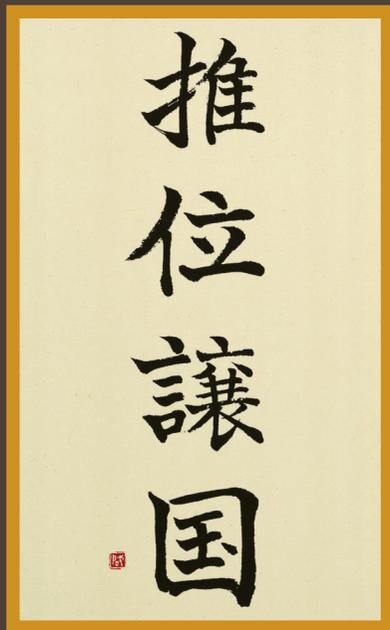
見本誌
無料贈呈

請求先
お問い合わせ先

〒101-8358 東京都千代田区西神田2-2-3 電話 03(3234)3918
「公益財団法人 日本書道教育学会 会誌係」 FAX 03(3234)3548

ねん	ふじぎょうしつ
くみ	だんぎゅう
なまえ	はんし
	こうひつ
	じょうふく

第44回 毛筆・ペン・篆刻作品展 全国公募 千字文大会



石橋 水 楷書千字文より

■部 門

〔毛筆〕幼年・小学生の部・中学生の部・高校生の部・一般の部
〔硬筆〕幼年・小学生の部・中学生の部・高校生の部・一般の部
〔篆刻〕一般の部のみ

■展示期間

2022年9月24日(土)～26日(月)

■展示会場

日本書道藝術専門学校(第1会場)
東洋文化不二研修所(第2会場)

出品料	毛 筆			篆刻	硬筆
	各半紙	各条幅	全臨		
小・中学生	700円	—	—	—	500円
高校生	800円	1200円	2500円	—	600円
一 般	1200円	2000円	3000円	1200円	1200円

◆主 催 / 学校法人 日本書道藝術専門学校
公益財団法人 日本書道教育学会

◆後 援 / 文化庁・静岡県・静岡県教育委員会・伊東市・伊東市教育委員会
伊東市文化協会・静岡新聞社・静岡放送・伊豆新聞本社

※出品要項は本誌40ページをご覧ください。

〈日本書道藝術専門学校 千字文大会事務局〉

〒414-0051 静岡県伊東市吉田1022 TEL (0557) 45-4194 FAX (0557) 45-3256
<http://www.nihonshodou.ac.jp/>

作品募集

出品期間：2022年7月11日(月)～15日(金)

自然に囲まれた緑豊かなキャンパスで書道を学びませんか？

次代の指導者養成を目指す
令和4年度 **新入生募集中!**
学校法人扶桑学園日本書道藝術専門学校

入学願書受付中

詳細につきましては下記より
お問い合わせください。

お問い合わせ
お申し込み先

学校法人 日本書道藝術専門学校
〒414-0051 静岡県伊東市吉田 1022 TEL : (0557) 45-4194 FAX : (0557) 45-3256
MAIL : info@nihonshodou.ac.jp URL : <http://www.nihonshodou.ac.jp/>

